

学校活性化推進事業

教育振興基本計画に基づき、学校の一層の活性化、特色化を推進

○ 学校活性化推進事業

補

■ 校長経営戦略予算

(㉔ 7億1,700万円 うち㉔補正 3億1,300万円)

- 各学校で定めた「運営に関する計画」に掲げた目標達成のため、学校規模に応じた校長の裁量予算を設定（基本配付）
また、特色ある学校づくりに必要な事業を計画する学校に対して、500万円を上限に、第三者の評価を経て予算を加算（加算配付）
- 加算配付の拡充
学校や地域の実情に応じた特色化を推進し、優れた取組をより多くの学校が実践できるよう、予算を増額 ※今年度の選定率2割を5割に高める (㉔補正 3億1,300万円)

□ がんばる先生支援

(㉔ 1億3,900万円)

- 個人、グループが取り組む学力向上を始めとする子どもの「心豊かに力強く生き抜く力、未来を切り拓く力」の育成に向けた実践的な研究活動を支援
- 支援内容・・・「個人・グループ研究」「大学院キャリアアップ派遣研修」「英語科教員海外派遣研修」

□ 英語イノベーション事業

(㉔ 5億9,900万円)

- 重点校において、小学校低学年から、音声指導を実施や、ネイティブ・スピーカーを採用して生きた英語や多様な文化を学ぶ機会を増やすなど、大阪市立の学校の英語教育の強化を図る

学力向上等を図る支援施策

「全国学力・学習状況調査」結果の学校別公表を受け、各学校の学習指導や、特に学力面で課題が大きい学校に対しては多面的な支援を行い、学力の向上をめざす

○ 学力向上を図る学習支援事業

補 ■ 学習サポーターの配置 (⑳補正 1億1,700万円)

- 学力面において課題が大きい小学校・中学校(約2割)に学習サポーターを配置
- 各授業時間や長期休業中の補充学習会等における支援

補 ■ 学習教材のデータ配信 (⑳補正 5,400万円)

- 全小中学校及び特別支援学校に配信し、授業や課外学習等で活用することにより、基礎学力の育成や応用・発展・活用問題に対応する力の育成を図る
- 内容・・・小学校:国語・社会・算数・理科 中学校:国語・社会・数学・理科・英語

補 ■ 民間事業者を活用した教員スキルアップ講座の開催 (⑳補正 300万円)

- 中学校国語・数学・理科について、学校と民間事業者が互いに高めあう教員スキルアップ講座を実施

いじめや不登校など学校が抱える課題の解決に向けた支援

○ いじめ・不登校等対策事業

□ 生活指導支援員の配置 (⑳補正 2億3,500万円)

- いじめ・暴力行為・不登校などの課題を抱える学校に、児童生徒の指導経験者等を配置

新たな施策による教育の充実

公募校長フォロー体制の強化など、新たな施策による教育改革の推進

□ 公募校長フォロー体制の強化 (⑳ 900万円)

- 公募校長が直面する様々な学校現場での課題を解決するため、フォロー体制を強化
⇒ 退職校長を嘱託職員として採用
- 退職校長の知識・経験を活用したきめ細かい支援を継続的に実施
⇒ 公募校長の豊かな経験や柔軟な発想・企画力を活かした学校運営を実現し、学校組織の活性化を推進

補 ■ 新たな指導のあり方を追求するスポーツモデル校の確立 (㉑補正 400万円)

- 従来のスポーツ教育システムを見直し、プレイヤーズファーストの精神を基本とするスポーツを通じて地域社会に開かれた学校づくりを進め、社会に役立つ人材を創造する

補 ■ 公設民営学校等の設置(国際バカロレア等の調査研究) (㉒補正 500万円)

- 公設民営の手法により国際バカロレアの認定を受ける中高一貫校又は中高一貫した学科などの設置に向け、カリキュラムや運営手法等の調査研究の実施